

国際ワークショップ報告書発行にあたって

2003年12月1日・2日に、芝蘭会館（京都市）において、国際ワークショップ ”Seeking an effective watershed management system through interdisciplinary approach –considering multiple spatial scales and stakeholders –“を開催しました。

このワークショップは、総合地球環境学研究所の研究プロジェクト3-1「琵琶湖-淀川水系における流域管理モデルの構築」が、5年間のプロジェクトの2年目に、企画しました。国内外から、流域管理に関係する研究者・行政関係者・NGOの方々の参加を得て、1) 流域管理の現状と課題を集約・検討した上で、2) プロジェクトを進めていく上での課題について、徹底した議論をおこなうことを目的としていました。このときの、参加者による講演やコメントは、たいへん刺激的であり、その後、プロジェクトを進展させる上で、大きな励みとなりました。

ワークショップから、2年半近くを経て、いま、プロジェクトは、最終年度を迎えます。プロジェクト開始当初の課題がどのようなものであったか、それがどの程度、その後の研究活動で解決・解明したか、この時点でもう一度ふり返り、自覚することが、これからの研究成果をとりまとめる上で大切だと感じ、この報告書を出版する運びとなりました。

この国際ワークショップ開催には、多くの方々のご協力をいただきました。あらためて、ここに感謝いたします。

2006年3月30日

総合地球環境学研究所

プロジェクト3-1「琵琶湖-淀川水系における流域管理モデルの構築」

プロジェクトリーダー 谷内茂雄